

平成26年度



3 年 進 路 だ ん り

第 1 6 号

新東淀中学校

羅

針

盤

H26. 12. 12

進路に向けた学習もいよいよ仕上げのときです。1月の実力テストを目標に、冬休み終了までに応用の学習を終えましょう。実力テストが済んだら、私学を受験する人は各学校の過去問を解き、問題の傾向をつかみます。私学を受験しない人は、もう少し応用力を付けましょう

私学と公立前期選抜校の出願先を決定

～ 第 2 回 進 路 懇 談 会 ～

週明けの12月15日(月)から第2回進路懇談会が始まります。この懇談会では、事業所、私学、公立前期選抜校の志願先を決定します。また公立後期選抜への見通しも検討します。家族とよく相談したうえで懇談に臨んでください。

この懇談で決定したことは、22日(月)に3年の先生方全員と校長先生、副校長先生、教頭先生、その他の主だった先生方で会議をもち、生徒全員一人ひとりの志願先についてその妥当性を検討します。その時「再検討した方がよい」という結果が出た場合は、担任の先生より連絡します。場合によっては再度懇談を実施することもあります。

ところで、皆さんは「夢」を忘れていませんか？ 前にも述べたとおり、高校等は自分の夢を実現するための通過点です。毎年、高校等の名前や偏差値に惑わされて、いつの間にか「夢」から外れた進路を選択してしまい、途中で退学して受験し直す人がいます。しっかりと将来を見据えて高校等を選んでください。

とくに、府立工科高校を考えている人は注意してください。名前は同じ「工科」ですが、内容は高校によってかなり違います。「系」や「専科」を確認し、自分の希望する内容の学習ができる高校を選んでください。



正しい服装で

～ 私 学 願 書 取 得 ～

私学を受験する人は、すでに願書をもらってきているでしょうか？ 進路相談がありますので受験校が変わるかもしれませんが、まだ志望校の願書等が手元にない人は1月6日までに各自で取得に行ってください。多くの学校では、年内は12月26日(金)まで、年明けは1月5日(月)から(土曜日、日曜日、祝日以外)の9時から17時まで窓口が開いています。進路懇談中の午後も使ってください。冬休み中は高校等に確認してから行ってください。

必ず正しい服装(制服)で行ってください。徒歩か電車やバスを使い、自転車や自家用車を乗り付けるようなことはしないでください。高校等に着いたら、門に入る前にマフラーなどの防寒具をはずし、事務室の窓口で「大阪市立新東淀中学校の〇〇です。願書をいただきに参りました」と声をかけます。願書が手渡されたら「ありがとうございます」と挨拶をして帰ります。

取得した願書は、外の封筒に名前を書き、他は何も書かずに、2学期中か1月7日(水)の始業式の日、封筒のまま一式全部を担当の先生に渡してください。中学校で必要な書類を抜き、1月9日(金)に書き方等を説明して返却します。



保護者の住所が大阪府内に

～公立高校出願資格～

進路説明会等でもお話しましたが、公立高等学校に進学するためには保護者と本人の住所に次のような条件があります。

公立高等学校出願時の「保護者」は、「両親」、「親権者(離婚されている場合)」、裁判所で定められた「後見人」に限ります。(例えば中学校では「祖父母」が保護者になっていても、公立高校出願時は「両親」が保護者となります。)

全日制高校およびクリエイティブスクールの全日制、Ⅰ部、Ⅱ部に出願するには、原則として「本人」と上記の「保護者」の住所(住民登録されている居所)が大阪府内にある必要があります。そうでない場合も出願できますが、別の申告書などが必要な場合があります。この懇談会で担任にお知らせください。特に3年生途中から転入してきた場合は、教育委員会の審査が必要な場合がありますので注意してください。単身赴任などで「保護者」のどちらかの住民登録が府外の場合や、親権者が府外に住民登録されている場合なども、申告書等が必要になります。注意してください。

定時制、通信制の高校と多部制の高校のⅢ部には、本人の住所が大阪府内にあるか、住所が府外でも大阪府内の事業所に就職する場合は出願できます。

公立高校は住民登録と同じ字体で本名で出願することになっています。通称は、本名の横に()を付けて記入することができます。事情で通称のみを記入して出願する場合は、事前以降校に連絡し、調査書にその旨を記入しなければなりませんので、必ず事前に担任までお知らせください。高校入学後は、中学校と同様に通称を使うこともできます。

練習で受験？

～ 私 学 1. 5 次 入 試 ～

大阪府及び周辺の私学には、2月10、11日の1次入試の合格発表の後に1.5次入試を実施する学校があります。これは本来1次入試で不合格になった生徒のために実施されるものですが、「併願」で出願した場合は、合格しても入学しなくてもかまいません。

ところが、1次入試で合格しているのに、別の学校の1.5次入試や他府県の異なる日程の高校を「練習」と言って受験する人がいます。入試はその学校に入学したくて受験するのです。入学する気もないのに受験して合格し、そのために本当に入学したいと思って受験した人が不合格になったとしたらどうでしょうか？

ある学習塾では、塾で検定料を負担してまで受験を勧めていると聞きます。

1.5次入試等の他の日程の高校に出願する前に、もう一度その意味を考えてほしいと思います。